# その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。

**（注）** この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

| 目的または状態 | 操作 | 参照先または問い合せ先 |
|---|---|---|
| 自分の電話回線で処理できるコールを増やす必要がある | 回線でサポートされるコールの追加をシステム管理者に依頼します。 | システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合せください。 |
| 電話回線が 1 本では足りない | 追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。 | システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合せください。 |
| 短縮ダイヤル ボタンが足りない | まず、現在利用可能な短縮ダイヤル ボタンをすべて使用しているかどうかを確認します。<br><br>追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用、またはファースト ダイヤル サービスへの登録を試行してください。<br><br>別の方法として、電話機に Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールを接続することもできます。 | 次の説明を参照してください。<br><br>• 短縮ダイヤル（P.32）<br>• 電話機サービスへの登録（P.54）<br>• 『*Cisco IP Phone 7914 拡張モジュール電話ガイド*』 |
| 秘書と仕事をしている（または自分が秘書である） | 次の機能の導入を検討してください。<br><br>• Cisco IP Manager Assistant<br>• 共有回線 | 次を参照してください。<br><br>• 共有回線の使用（P.34）<br>• 『*Cisco IP Manager Assistant ユーザ ガイド*』 |

| 目的または状態 | 操作 | 参照先または問い合せ先 |
|---|---|---|
| 1 つの内線を複数の電話機で使用する | 共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。 | P.34 の「共有回線の使用」を参照してください。 |
| 電話機やオフィス スペースを同僚と共有している | 次の機能の導入を検討してください。<br>• コール パーク : 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。<br>• コール ピックアップ : 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。<br>• 共有回線 : 同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。<br>• Cisco エクステンション モビリティ : 共有の Cisco IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 | これらの機能については、システム管理者にお問い合せください。また、次の説明を参照してください。<br>• 応用的なコール処理（P.32）<br>• 共有回線の使用（P.34）<br>• Cisco エクステンション モビリティの使用（P.41） |
| 頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する | 電話機への自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。 | P.44 の「自動応答の使用」を参照してください。 |
| ビデオ コールを発信する必要がある | Cisco VT Advantage の使用を検討してください。これを使用することにより、Cisco IP Phone、パーソナル コンピュータ、および外部ビデオ カメラを使用して、ビデオ コールを発信できるようになります。 | 詳細についてはシステム管理者にお問い合せください。また、『*Cisco VT Advantage クイックスタートガイド*』および『*Cisco VT Advantage ユーザ ガイド*』を参照してください。 |
| 共有の Cisco IP Phone に自分の電話番号と設定を一時的に適用する | Cisco エクステンション モビリティ サービスについて、システム管理者にお問い合せください。 | P.41 の「Cisco エクステンション モビリティの使用」を参照してください。 |